

平成14年1月

われと来て遊べや



→ 一緒に参加した石川おじいちゃんのパフォーマンス。
むかしの技が役に立ちました



また一度十六七で人見知り
古川柳である。娘は十六七になると、人見知りをする、なんでも恥ずかしく、ういういしかった。「また一度」の最初は、母の後ろに隠れてしまう幼児の人見知りである。土南部保育園では、近隣の老人会のおじいちゃん・おばあちゃんを招いて交流会をしている。核家族育ちの園児と遊んでもらおうというわけである。いつも参加している女性に代わっておじいちゃんはいかがというわけで、年度末の三回の交流会に出かけた。そこで古川柳を思いだし、人見知りされるのは覚悟の上で、おつかかなびつくりの参加となった。

土南部保育園交流会におじいちゃんも参加

ところが、三歳児三十人の前に座ったとたん、ヒザに乘られ、背中に抱きつかれた。人見知りなどという言葉はなかった。六十の瞳は、伸びやかな雰囲気の中にいる。新入りのおじいちゃんは、焼き芋の作り方に感心し、焼きたての熱いのをほぐしながら与えていたら、「あまり食べちゃうとお昼が食べられなくなりそうですよ」と、やんわり注意された。ごもつとも。伝承遊びという交流会では、こま・けん玉などお得意の技を見せる番。できるのは、せいぜいドンダリのコマ回し。もつと覚えておくんでした。わが身の来し方を思い起こさせるチャンスとなった。

↑ 見ている態度にも個性がでる。おじいちゃん、じっくり観察してきました
← 焼き芋はまだですか。ケムかったなあ



柏市の保育園は二つの私立を含めて23か所、2900名を受け入れている。土南部保育園は、生後4か月〜5歳、110名。